

## 議 第 2 0 号 議 案

名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書の提出について

名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書の提出を別紙のとおり、富士見市議会会議規則第13条の規定により、提出します。

令和3年9月21日提出

富士見市議会議長 齊 藤 隆 浩 様

提出者 富士見市議会議員 根 岸 操

賛成者 同 川 畑 勝 弘

### 提 案 理 由

名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書を地方自治法第99条の規定に基づき国会及び政府に対して提出するため、この案を提出します。

## 名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書

2021年3月、名古屋入国管理局で、当時33歳だったウィシュマ・サンダマリさんが亡くなった。出入国在留管理庁（入管庁）は、内部調査を行い、8月10日、「調査報告書」を公表した。

しかし、調査報告書に示された課題も改善策も、死亡結果との関係について具体的な分析がされることなく示されているなど、内部調査には問題があり、入管庁自身による実効的な再発防止は期待できない。入管施設では、過去にも医療放置に起因するとみられる死亡事案が発生し内部調査が行われたが、今回の事態を防ぐことができなかった。再発防止のためには、関係する情報が全て公開され、入管施設内の処遇のあり方を見直すことと同時に、国会等第三者による検証を行い、入管施設内での死亡事案が繰り返される日本の出入国在留管理制度を抜本的に改革することが必要である。

よって、富士見市議会は、国会及び政府に対し、再発防止のため、ウィシュマさんの収容に関する文書、ビデオ映像等の情報を全て公開することをはじめ、以下の対策を実行するよう求める。

### 記

- 1 再発防止のためには、考えられる「複数の要因」について総合的に分析し、回避可能性を検討しなければならない。その観点からの死因の分析を行うこと。
- 2 遺族が収容に関する行政文書の開示請求を行ったことに対し、開示された15,000枚余の文書のほとんどがマスキングされており、遺族へ公開されたビデオ映像は、13日間の記録を2時間に編集したものだった。内部調査の真実性を検証し、入管施設内の処遇のあり方及び日本の出入国在留管理制度を見直すために情報隠蔽を止め、直ちに全ての情報を公開すること。
- 3 入管庁が在留資格のない外国人を、司法審査を受けず、期限・回数制限なく身体拘束することは、国際法違反の拘禁であり人権侵害である。この根本的な差別に目を向けないまま、収容施設内での意識改革をうたっても、矛盾というほかない。こうした職員の人権軽視、偏見を生み出す差別構造を解消すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

埼玉県富士見市議会

衆議院議長	大島理森	様
参議院議長	山東昭子	様
内閣総理大臣	菅義偉	様
法務大臣	上川陽子	様
内閣官房長官	加藤勝信	様